

Niiwa

新和地区



古式風習を伝える 伝統の地を歩く

奇習を伝える「ひねり観音」、家出人探しに効く「神明社の狛犬」など、歴史を伝える新和地区を歩いてみませんか。



バス時刻のお問合せ

国際興業バス
さいたま東営業所
TEL 048-812-1577

..... コース トイレ コンビニ



① 光秀寺

曹洞宗のお寺で、日峰山福寿院光秀寺といい、釈迦如来を本尊としています。寺の創立は永禄7年(1564)、開基は岩槻城主北条氏房の家臣三上三郎左衛門と伝えられています。



また、天正19年(1591)には徳川家康から朱印地3石を賜りました。境内墓地には珍しい「徳利型」の墓石があります。また、本堂裏手には市指定文化財「カヤの木」があります。

② 尾ヶ崎観音堂

乳の出が良くなる「観音様」として、人々に信仰されています。



また、毎年8月10日の夜、善男善女が次々と参詣に訪れ、境内は身動きができないほど賑わい、そこで若い衆が好みの娘の尻をひねる風習があったところから「ひねり観音」とも呼ばれています。このような風習も、今はなくなりました。

③ 万葉歌碑

万葉歌碑は、尾ヶ崎新田開発者真々田家屋敷内にありましたが、土地区画整理事業により美園東三丁目(旧大字尾ヶ崎新田)の稻蒼魂神社裏に移転しました。



この歌碑は、真々田家9代で俳人の真々田素泉が天保6年(1835)に造立したもので、碑文には「前玉之小崎乃沼…」と刻まれています。

この頃の尾ヶ崎地区周辺は俳句が盛んで、当時の句碑などが残っています。

④ 円福寺

真言宗のお寺で、日輪山明王院円福寺といい、不動明王を本尊としています。江戸時代には、村内鎮守の稻荷社、神明社の別当を務めていました。また、かつて四国88カ所霊場を模した「三郡送り大師」という、北足立郡、南足立郡、埼玉郡のお寺を、弘法大師の絵や像を順送りしてお参りする札所信仰があり、その41番目の札所となっていました。



境内地には、中世の板碑や延宝8年(1680)銘の念仏供養塔、元禄9年(1696)銘の庚申塔などがあります。

⑤ 庚申塔

円福寺から県道を越谷方面に南に進み、国道463号バイパスを渡り、直進すると、進行方向右手に宝永5年(1708)銘の庚申塔があります。この庚申塔は、正面に青面金剛立像、邪鬼、磐座、三猿、二鶏などが彫られています。



右側面に、「奉造立庚申像一軀為二世安楽也 宝永五戊子天霜月吉祥日 釣上新田村結衆 都合亭女三拾三人」とあり、左側面に3カ年18回の庚申待ちを行った記念とも記されています。

⑥ 保壽院

真言宗のお寺で、台知山保壽院観音寺といい、不動明王を本尊としています。境内地には、釣上新田自治会集会所があります。



入口の左側に庚申塔や念仏供養塔などがあります。また墓地の左奥には甲州武田家の家臣と伝える原家の墓所があります。

⑦ 玉泉寺

曹洞宗のお寺で、医王山玉泉寺といい、薬師如来を本尊としています。寺の創立は、慶長2年(1597)に没した玉泉心泰が開山したといわれています。



境内地には、寛文4年(1664)銘の寒念仏供養塔や寛文12年(1672)銘の庚申塔などがあります。

⑧ 道しるべ

釣上自治会集会所への入口水路側の角に「道しるべ」があります。この道しるべは、享保9年(1724)に造立されたもので、高さは86cmあり、正面には「従是神明宮之□」、右側面には「是よりしんめい道」と刻まれています。このような道しるべは他に3箇所あります。



当時は、神明神社の並びに茶店が数軒あったといわれ、神社へ続く道は、「お茶屋道」と呼ばれていました。

⑨ 釣上の神明社

元は釣上村中村氏の屋敷神でしたが、参拝者が絶えなかったことから、村の鎮守になったと伝えられています。祭神は大日靈貴尊ほか3柱です。



また、毎年10月21日は例大祭にあたり、この日に近い日曜日には「古式土俵入り」(国指定重要無形民俗文化財)の奉納神事が行われています。境内地の「狛犬様」は家出人の足止めに効くといわれ、家出人が見つからない時は、狛犬の足に麻紐を結び、帰って来ると紐をほどくという信仰があります。また、三ノ宮卯之助の雲竜石(力石)があります。